

アンリック・プラット・ダ・ラ・リバ (1870～1917年)

Enric Prat de la Riba i Sarrà (Castellterçol, Vallès Oriental
1870 – 1917)

•政治家、法学者



プラット・ダ・ラ・リバの生涯

- 1870年、カタルーニャの農村に生まれる
⇒後のカタルーニャ理解に有機体的概念を持ちこむ論拠
- 1881年、11歳のときにバルセローナに移り、中高等学校で学ぶ。
- 1893年、バルセローナ大学法学部を卒業
- 1894年、マドリード大学で博士号を取得
 - 産業法制に関する学位論文 (La ley jurídica de la industria) で、カタルーニャ法曹アカデミーから出版される。
 - 法実証主義的・保守主義的潮流に身をおく
 - 産業を、「ナショナルな有機体の生産的装置 aparell productur de l'organisme nacional」として擁護。

- 1890年～1891年、Centre Escolar Catalanistaの委員長（入会は1887年）
 - ここでの活動を通じて、ナショナリズム概念を精緻化し、カタルーニャ主義の近代化を進める。
- 1892年、Unió Catalanista会議に書記長として参加
 - マンレーザ綱領の採択（※トラス・イ・バジャスの関与）
 - 一方で、国家とカタルーニャの関係の不明瞭さを批判
- 1891年～、La Renaixensa紙に協力

- 1894年、Pere Muntanolaとともに ***Compendio de doctrina catalanista***を著す。
 - ネーションとしてのカタルーニャを明確に定義する。
 - この著作で、サバデイ・カタルーニャ・センターの賞を受ける。

- 1895年、*Revista Jurídica de Catalnunya*の編集

